



あすなる

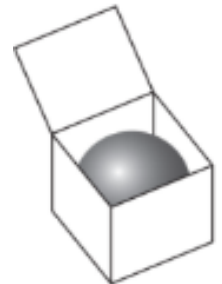


愉しむ 学び

校長 鈴木 華奈子

「この直径 22 cmのボールがぴったり入る箱を作ってくれない？」

「文化祭当日、体育館をストーブで6時間あたためたい。灯油は18L。強火(4L/時)だけで温めると灯油がもたない。6時間、できるだけあたたかくし続けるには、強火から弱火(2.5L/時)に切り替えるのは着火後何時間にしたらいい？」



これらは、誕生日のプレゼントづくりや、文化祭実行委員会の話でしょうか？
実は、2024年全国学力・学習状況調査の小学校算数と中学校数学に出題された問題の一部です。この調査では、基本的な知識が使えるようになっていくかみる問題だけではなく、身に付けた知識や技能を実生活の様々な場面で活用できるかをみる問題も多くあります。

このような問題が出されるのは、これからの未来を生きる子どもたちには、ただ、「知っている」「覚えている」というだけではなく、「目の前の状況から問題を見出す」「知っていることを使って身の回りの課題を解決する」力をつけることが大切だと考えられているからです。

実際の生活では、知らないことや分からないことに出会えば、ネットや辞書で調べる・実際に試してみる・人に聞くなどして解決します。「知らない」「分からない」ことを不安に感じたり、面倒に思ったりしなくてもいいのです。誰でも「知る」「分かる」までは、まだ「知らない」「分からない」だけなのです。自分で調べたり試したりすれば、「分かった！」に近付いていきます。そして“?”を自分で解決したり、新たな発見ができたりした時には、喜びと自信が生まれることでしょう。

さて、東っ子たちはどうでしょう？自分でテーマを決め取り組む自主学習では…。ある子は算数の点対称図形を「コンパスを使ってできないか」と考え、自分で試行錯誤しています。コンパスの線が交わるところが頂点になることに気付き、複雑な点対称図形の作図を完成させています。また、ある子はリレーの練習が始まった頃、大切な「バトンパス」のコツを自分で調べ、よい例と悪い例を図で示しながらまとめています。読んでいて、試してできた面白さや、調べて分かる愉しみが伝わってくるようでした。

実生活での“?”は、生活や遊びの中にたくさん生まれていることでしょう。学校の学習でも、子どもたちが自分で調べたり試したりして“?”を解決することを大切にしながら、新たな「分からない」「知らない」こととの出会いも愉しめる場や環境をつくっていきたいと思います。



学力テストの結果をお知らせします

【全国学力・学習状況調査…6年生】

この調査は、全国の6年生を対象に4月に実施されました。結果は下記のとおりです。本調査から見られた傾向をもとに今後も授業改善を図っていきます。

【学校の傾向】

- ◎ どちらの教科においても、全ての領域で全国、新潟県の平均点を超えていた。
- ◎ 国語は、漢字の書き取りや図と語句を結び付けた問題（知識・技能）の正答率が高い。
- ◎ 算数は、見取り図や展開図を読み取る問題や、立体の求積問題の正答率が高い。
- ◎ 児童質問紙から、自分で考え、自分から学習に取り組む割合が高い。また、友達と考えを交流したことで、新たな考えに気付ける割合も高い。
- ◎ 児童質問紙から、ICT 機器活用能力の割合が高い。
- ▲ 国語では、主語述語の関係や、登場人物の相互関係や心情を読み取る問題の正答率が低い。
- ▲ 算数では、グラフの読み取りはできるものの、比較対象のデータの違いについて、必要な語句を用いて説明する問題の正答率が低い。



6年生は、7月にリーディングスキルテストを実施しました。学年全体の課題を中心に、リーディングスキルノート（RS ノート）を活用して自ら学ぶ力の土台となる読解力育成に努めます。学習内容の定着と自ら学ぶ力の育成には、学校での授業とともに家庭学習の充実も大切です。自分の弱点を補う内容を加えたり、自分の興味や関心に応じた内容を追究したりしていくと、より学力に結び付くと考えています。

ぜひ、どの学年におかれましても、お子さんの家庭学習の様子をご確認され、引き続き励ましのお声掛けをしていただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

第2回学校運営協議会を開催しました

9月5日（木）、「コミュニティースクール」制度導入に伴う学校運営協議会の第2回を開催しました。今回は学習参観日と合わせ、協議の前に委員の皆さんに子どもたちの様子を見ていただきました。

委員の皆さんからは、「学校全体が明るくていい雰囲気」「ワイワイと和やかに進みながらも、集中して学習できていた」など、子どもたちの様子をたくさん褒めていただきました。

協議会では、1学期中の燕東小の取組を児童・保護者アンケートの結果から振り返り、それぞれの立場で取り組んでいることや改善策などが協議されました。協議会の具体については、後日発行する学校運営協議会だより「みんなのひがし笑/楽/好」をご覧ください。



地域住民の立場、保護者の立場など、様々な観点からご意見をいただきました。次回は2月19日（水）に開催予定です。